

# 利賀っ子だより



R 3 . 5 . 1 1

## 小中合同運動会に向けて最終段階に入りました



まだ8時にもなっていないグラウンドで、走っている子供たちの姿がありました。指導者はその場には、いません。

今年の運動会の種目「徒競走」は、中学生の提案で、学年ごとに走るのではなく、体育の時間に測定した記録を基に走順を決めることになりました。また、着順ではなく、体育の時間に測定した記録と当日の記録との差で得点の有無が決まることになりました。つまり、他との競

走ではなく、これまでの自分の記録との競争になります。

子供たちは、少しでも自分のタイムを縮めようと始業前に主体的に走っていたのです。友達と声をかけ合ってグラウンドに出てきたとのこと。正に今年度の重点目標「他と関わりながら、自分で考え、判断し、行動する」姿でした。

小中学校合同で「玉入れ」競技の練習をしていた時のことです。入れた玉の数で順位が決まるのですが、結果発表を担当する指導者が点数を言い間違えるという場面がありました。

指揮台に立っていた指導者は、子供たちの「えっ。」という反応に気づき、「ごめんなさい。間違えました。」と子供たちに謝り、子供たちの方から大きな声で「大丈夫です。」と返ってくるというやり取りがありました。

何気ないことかもしれませんが、「間違いを認め、謝る」「お詫びの気持ちを受け止める」ことを当たり前ができる利賀の教職員と子供たちがとても素敵だと感じました。

(校長 高田 公美)

